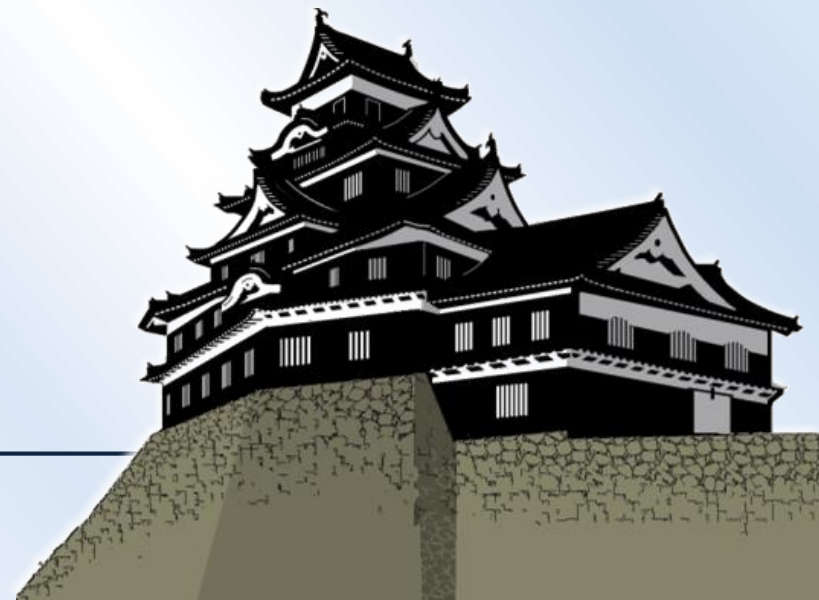


令和5年度 事業のご案内 (岡山市 総合特区関係)



岡山市
OKAYAMA CITY

医療政策推進課 医療福祉戦略室



1 目次

項目		参照ページ	主な対象	事業案内の時期
1	総合特区事業の概要	2～4ページ	全事業所	
2	最先端介護機器貸与モデル事業	5～6ページ	居宅介護支援 ・介護予防支援	通年実施
3	高齢者活躍推進事業	7～9ページ	通所介護	5月頃
4	訪問介護インセンティブ事業	10～12ページ	訪問介護	4月頃

- ◆ **総合特区**とは、地域のさまざまな課題を解決するために定められた国の制度です。
- ◆ 国から総合特区の認定を受けた自治体は、国と協議して従来の規制を緩和したり、全く新しい制度を実施したりといった**特別な措置をその地域限定で実施することができる**ようになります。

新しい課題には対応に限界



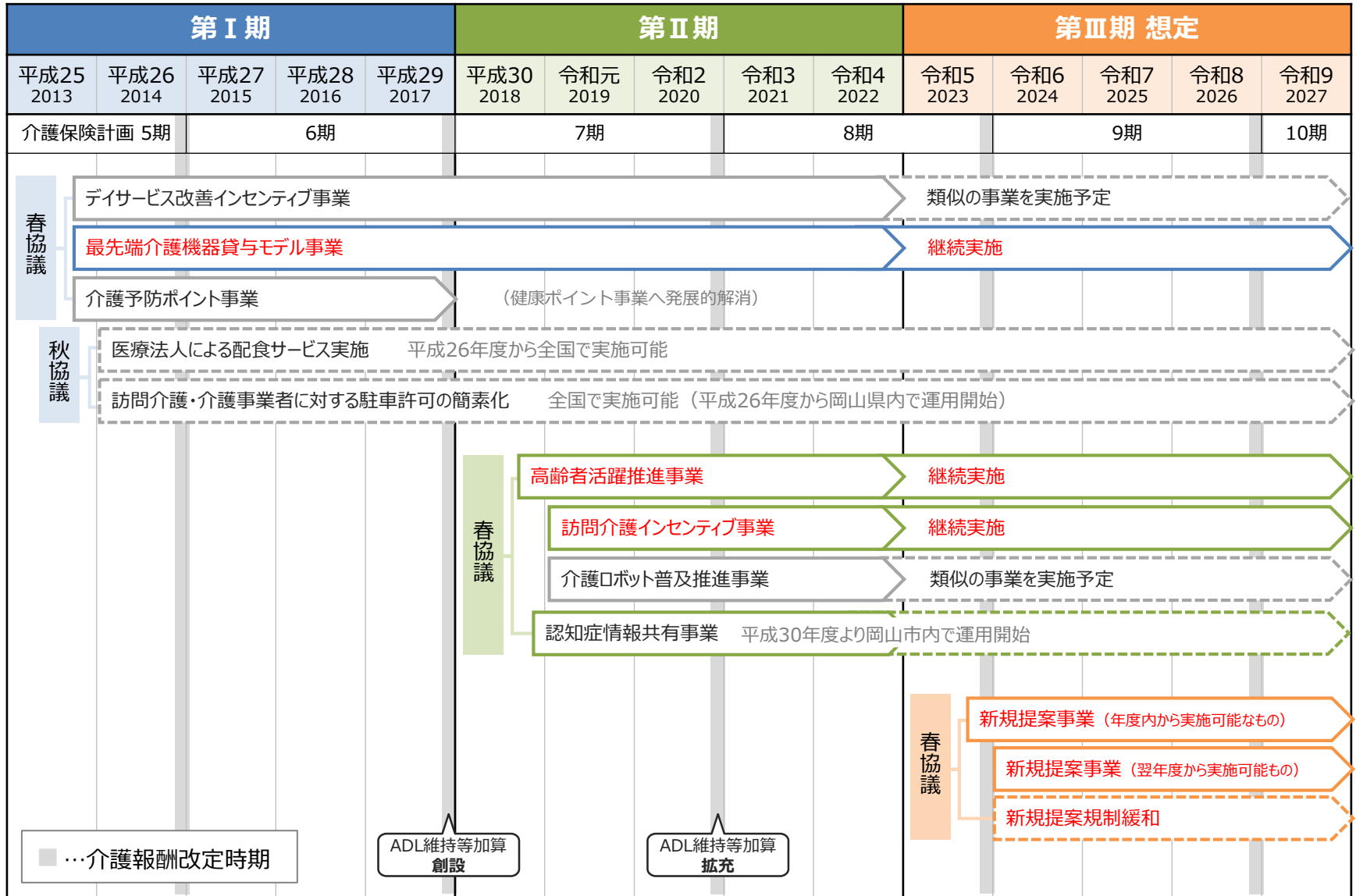
新たな視点から
対応が必要

既存制度にとらわれない対応

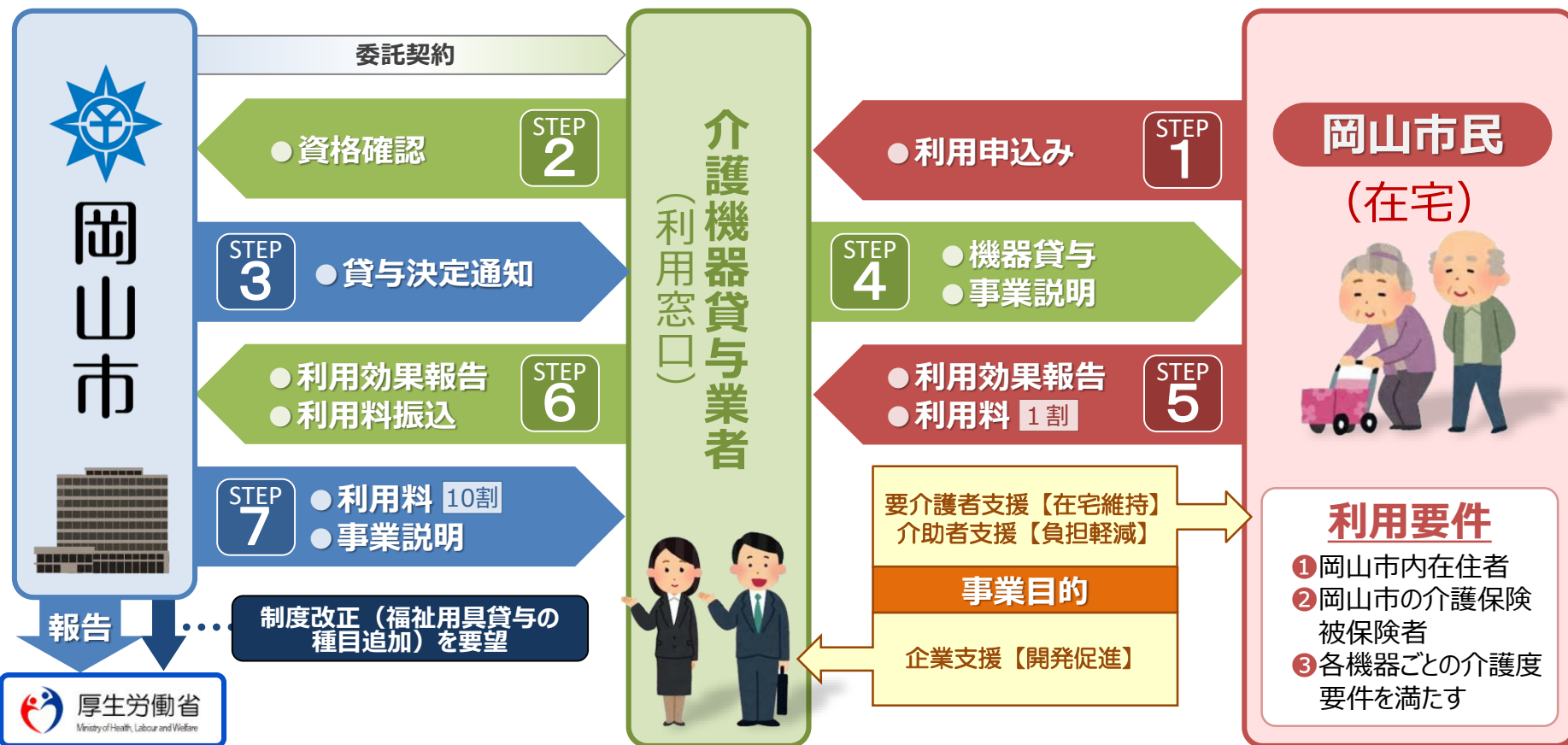


- ◆ 岡山市では「**高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築**」をコンセプトに、全国でも数少ない「在宅介護」に焦点をあてた総合特区（**AAAシティおかやま**）を平成25年から実施しています。
- ◆ 総合特区では目標を達成するためにさまざまな事業を実施しており、**特に効果があったものは全国的にも広がるよう国に要望**します。これまでもさまざまな制度が岡山市の働きかけをきっかけに全国へ広がっており、これからも「**地方から国を動かす**」ことを目指します。





- ◆ 市内で在宅で生活する高齢者（要支援・要介護）に、介護保険福祉用具貸与の対象となっていない介護機器（令和5年度：4機器）を、1割の自己負担で貸与する。
 - ◆ 貸与機器は、全国から公募し選定。機器取扱業者から貸与による利用実績・実態を報告させて効果を検証。これを基に国に福祉用具貸与の種目追加等を要望する。
- ➡ 事業開始時から厚生労働省の福祉用具に係る評価・検討会に対し、継続して要望を実施



○ これまでに5回の公募を行い16機器を採用。令和5年度からは4機器の貸出を実施予定。

■ 日常生活支援 ■ コミュニケーション ■ 服薬支援

パワーアシストグローブ

ダイヤ工業(株)

空気圧ゴム人工筋をグローブ内に搭載し手指の「握る」、「開く」動作を支援。



1,700 円/月 (税抜)



パロ

大和リース(株)

AIを搭載したアザラシ型のコミュニケーションロボット



2,000 円/月 (税抜)

iTSUMO 2 (いつも2)

アーバン警備保障(株)

GPS機能を搭載した機器。靴などに取り付け、タブレット等で居所を確認することができる。

1,200 円/月 (税抜)

画像なし

お薬飲んでね！

(株)近畿メディカル

光と音による促し効果で、服薬の時間等を知らせる。家族の声を録音し、その声による促しも可能。

800 円/月 (税抜)



- 高齢者に社会参加活動や就労活動を提供する場合は、これまでのように既存の形式の中で事業所側が考えるのではなく、利用者へのアセスメントをベースに取組を考えていく「**視点の転換**」が必要

高齢者

「お世話が必要な人」扱いはイヤ！



周囲から認められたい！

レクリエーションしかやらない事業所には行きたくない…

能力を活かして社会貢献したい！

アセスメント

- 本人の能力
- 本人の希望
- 必要なケア
- 生活環境 など

介護事業所

事業所が提供できるサービスを検討
(例)

- 屋内での軽作業（箱折等の内職）
- 事業所周辺の見守りや清掃
- 周辺の土地を活用し、しいたけやネギ等の農作物を栽培
- 農産物の加工や袋詰め
- パンやピザ等の製造や販売
- 事業所を食堂とし、調理や配膳
- 地元の観光案内

アセスメント内容と事業所の状況に加え、利用者本人の当日の体調・意向等を勘案し、事業所の中で就労・社会参加活動の提供を可能にしていく

形式にとらわれず、それぞれにとってメリットのあるサービスに！

高齢者

- 希望する社会貢献を実現し、生活に意欲を持てる
- 就労活動の場合、多少の収入を得られる
- 生きがいある生活が在宅生活維持のモチベーションに

介護事業所

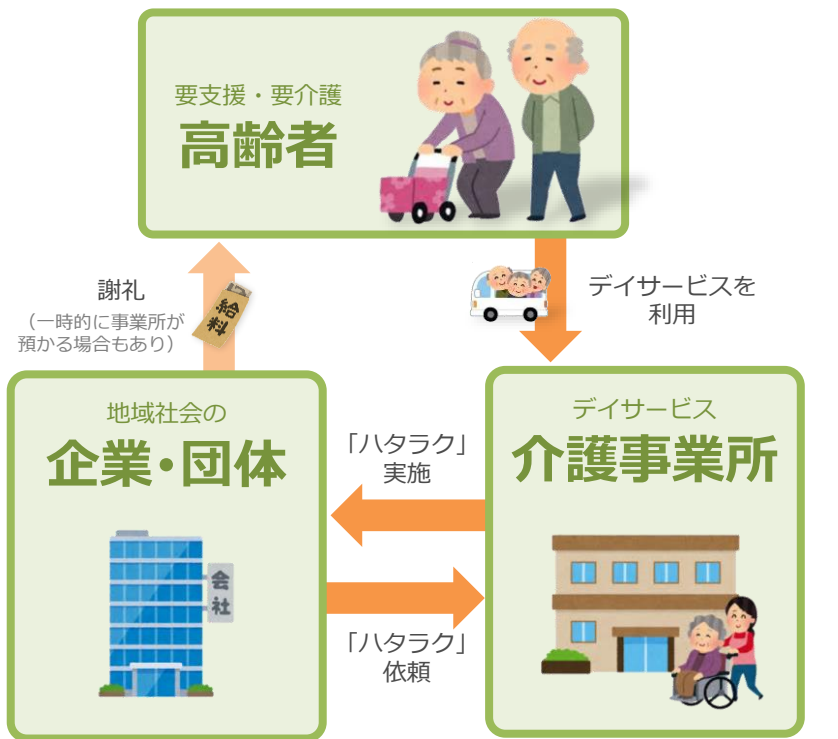
- 地域や社会と交流を持つ評判の高い事業所に
- 利用者の希望に沿ったサービスで利用者の良い関係性を保てるため、職員のモチベーション向上

将来的には、高齢者が介護事業所に留まり続けるのではなく、地域が受け皿となり、社会参加・就労活動や、自主的な活動が可能になることが望ましい

意欲と能力のある要介護高齢者が、通所介護事業所の介護保険サービスを通して地域を舞台とした就労・社会参加活動「ハタラク」を行う。

目指す姿

「ハタラク」希望の要介護高齢者が、サービス提供可能なデイサービスを利用。デイは地域の企業等から「ハタラク」仕事を獲得し、利用者に提供。企業等は、謝礼がある場合は、利用者へ支給。



市の取組

「ハタラク」実施希望のデイサービスをモデル選定。事業の意義や実施ポイントに関係者間で共有。モデル事業所は、利用者の希望にあった「ハタラク」活動を地域内の企業から獲得し、実際にやってみる。市は事業所の取組を伴走支援。



来年度も実施事業所を選定してモデル事業を継続し
市内における事例を積み重ねていくとともに
必要に応じて、国への提言なども行う

モデル事業所における取組の結果、下記のような「ハタラク」の実践につながっている。

※この他事例…寺院の清掃、病院売店での製品販売、運送会社からの内職

小売店舗敷地内の草抜き

協力団体 岡山コープ

- 岡山コープ西大寺店敷地の草抜きを月2回（30分程度）実施
- 謝礼…200円/回
- コープエプロンを着用して実施
- 終了後、即謝礼渡し、コープで買物



町工場からの内職

協力団体 フジミツグローブ

- 返品商品からのタグ取り外しを月2回（作業1時間程度）実施
- 謝礼…1円/個
- タグを外した商品は箱に並べて入れる
- 1月あたり1000円強の謝礼に。



運送会社のDM便配達

協力団体 ヤマト運輸

- ヤマト運輸DM便配達を毎週（30分程度）実施
- 謝礼…25円/通
- 事業所周辺地区を配達先とする該当DMがあった場合に実施



公園の清掃

協力団体 岡山市、町内会

- 事業所近隣の市公園の清掃を月2回（30分程度）実施
- 謝礼…なし
- 清掃用具は、町内会が無償貸与。



事業の狙い・背景

- ◆ 介護サービス全体として利用者の「状態維持・改善」が求められており、訪問介護でも利用者の状態像を見極め、その人に適したサービスを提供することがより必要となっている。
- ◆ そのためには幅広い専門職と連携し、さまざまな視点から利用者の状態像を見た上でのサービス提供が望ましい。国は「生活機能向上連携加算」の創設などで連携強化を図るが、十分に進んでいるとは言い難い。
- ➡ 岡山市はこの状況を改善するため、厚生労働省とも協議しながら令和元年度から本事業を開始。

事業内容

- ◆ 市が訪問介護事業所に無償で派遣する専門職（OT・PT、**歯科衛生士**、**管理栄養士**）が実際に利用者の状態像を確認し、ヘルパーに対して利用者の「状態維持・改善」に繋がる助言を行う。
- ◆ 年度末には利用者の状態を維持・改善させた訪問介護事業所を表彰し、特に改善度合いの高かった上位10事業所には市長からの表彰状と奨励金（10万円）を交付する。

令和5年度から追加

現行制度

「状態維持・改善」って難しい、誰に相談すれば、何を見たら良いのか…



訪問介護事業所

- 徐々に生活能力低下
- 状態の悪化

施設入所



インセンティブ事業

専門職の助言で「状態維持・改善」が分かるようになった！



訪問介護事業所



専門職

在宅生活の継続



- 在宅での生活能力の向上
- 状態の維持・改善

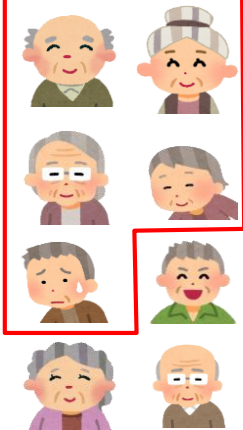
- ◆ 参加事業所は、①利用者 5 名を対象にした専門職との同行訪問や、②市が主催する研修会への参加（年1回）などの取組をすれば**表彰事業所**となり、市から**表彰状**が授与されます。
- ◆ さらに、利用者の状態が維持・改善した度合いの高い上位10事業所には**市長からの表彰**に加えて、**奨励金（10万円）**が交付されます。

5月 参加事業所

- 利用者の中から事業の対象となる5名を選びます。

利用者

事業対象者



参加事業所数

R3	16事業所
R2	13事業所
R1	16事業所

6月~1月

取組の内容

- 参加事業所は、①事業対象者を対象に専門職との同行訪問や、②研修会の参加、③訪問介護計画の見直しを行います。
- リハビリ専門職との同行訪問では、利用者の状態像を点数化して比較するため、2回行います。（他の専門職は1回）

事業所の取組

①	専門職との連携	市が派遣する「OT・PT」や「管理栄養士・歯科衛生士」と同行訪問すること
②	研修への参加	市主催の研修（年1回）へ参加すること
③	訪問介護計画の見直し	専門職と連携した後、訪問介護計画を見直すこと（見直した結果、変更がない場合もOK）

リハビリ専門職との連携

- ・OT・PTが訪問介護の現場に同行した際は、利用者の状態像をバーセルインデックスという指標で点数化します。
- ・同行訪問は年に2回（6月～8月、11月～1月）行い、状態像の点数を比較します。
- ・可能であれば、2回目の同行訪問時はリハビリ専門職の元で、ヘルパー自身が高齢者のバーセルインデックス測定にチャレンジしてください。

3月 表彰状 奨励金 (インセンティブ)

- 表彰事業所のうち、**利用者の状態像が維持・改善した上位10事業所**は実際に表彰式で**市長から表彰状と奨励金を交付**

BEST 10

市長から授与

表彰状



奨励金

- 1位～10位
…10万円

- その他の事業所は表彰状を郵送にて交付

それ以外

郵送

表彰状





◆岡山市長から上位10事業所に対して、**表彰状及び奨励金（10万円）**を授与

◆上位10事業所及び指標達成事業所は、**岡山市のホームページ**及び**PRパンフレット**にて情報公開

URL : <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000036253.html>

